

外濠ビジョンデザインコンペティション「2050年の外濠の風景」Q&A

2026.08.22 更新

- Q1.** 対象区域は、提示されている濠(+堀跡)の中から1つを選ぶのでしょうか。それともすべてを対象とするのでしょうか。
- A1.** 提示されている対象の中から、提案内容に応じて1つを選定しても、複数(またはすべて)を選定しても構いません。
- Q2.** 「隣接する敷地」として、外濠公園や濠に面する斜面(緑地斜面)などを扱ってもよいでしょうか。
- A2.** 「隣接する敷地」は赤枠内の土地・外側の土地を問いませんので、濠の斜面も隣接する敷地として設定していただけます。
- Q3.** 代表者や共同制作者の変更はいつでもできますか。
- A3.** 代表者・共同制作者ともに、作品提出まで変更可能です。
事務局(sotoboricompetition@gmail.com)までメールにてお問い合わせください。
- Q4.** 学生時代の設計実習で作成した作品(学内講評のみで発表、ネット未掲載のポートフォリオ等に使用)をもとに提案に応募することは可能ですか。
- A4.** 学内での講評・発表にとどまる作品であれば、「未発表作品」としてご応募いただけます。ただし、すでに書籍・雑誌・作品集・Webサイト・SNSなどの公開媒体(不特定多数が閲覧できる状態)に掲載された作品については、応募不可となりますのでご注意ください。
- Q5.** 対象地域について、対象とする濠とその対象地域を選ぶというのは、対象とする濠全てを対象として、その回りの地域を選定するのか、外濠も地域も選定するのかどちらと捉えればよいでしょうか。
- A5.** 対象とする濠および敷地については、要項にあるとおり(「対象とする濠は、飯田橋駅から四ッ谷駅間にある、飯田濠・牛込濠・新見附濠・市ヶ谷濠とします。対象とする濠を含めて、その濠と隣接する敷地を選んでください。」)です。敷地の条件は、提案者が選択した濠に隣接することです。敷地の範囲は提案者が自由に決めることができます。濠を取り囲む周囲の敷地全体を選定しても、濠に隣接する特定の敷地を選定しても構いません。

Q6. ※の地図データについてですが、プレゼンシートに載せる敷地図が国土地理院地図の数値地図である必要はありますか。また※に記載している意図をご教授いただけますと幸いです。

A6. できるだけ正確で広く利用できる地図として国土地理院の数値地図を紹介しています。同等の精度を持っていれば他の地図でも問題ありませんが、Google Maps など、作品を公開する際に著作権上の問題が生ずる可能性があるものは使用しないでください。